

ものづくり天国 アレグロ

シリーズ～まちの中の達人～

デジタルテクノロジー

3Dプリンター

フィギュアのプラスチックは有機物に分解するらしい

ポリエチレンフォームを型で成形して軽いお面ができる

カッコイイ大型ミシンが何台も並んでいる

ハルーン着ぐるみ

ファンで空気が送り込まれふくらんでいる真夏でもOK

物作りに没頭する若者たちの目は魅力的だ

これは何になるんだろう？

ARTISTの制作もサポート(発注芸術という分野)

ジブリも鬼滅も

イラスト：井出幸子

イベントなどでよく見かける着ぐるみやアニメの人形。いったい誰がどうやって作っているのだろうかと思っていましたが、池袋本町にもそんな人たちがいました。今回訪問したのは、そういった制作を行っている株式会社アレグロです。

アレグロの社は池袋三丁目にあり、山手通りから見える屋上の大きなゾウの人形が目印となっています。周辺に4つの工房があり、池袋本町二丁目にも、恐竜の看板をつけた工房があります。

アレグロは現在の会長が芸能人の似顔人形づくりからはじめた会社です。今年で創業32年。今では総勢40名を超える皆さんが制作に携わっています。平均年齢は36歳。男女の比率は半々。若々しい会社です。

制作するのはどれも一品生産です。最新の機械を使うものもあれば、針で手縫いのももあります。注文がくるとそれをどうやってつくるかを考えるところから始まるそうです。どうりで皆さん楽しそうに仕事をしているわけです。若々しい会社に見えるのは、楽しく仕事をしているからなのでしょうね。

まち

池袋本町

まちづくりニュース

Ikebukuro Honcho
Machizukuri News
No.69

2021年2月発行

発行：池袋本町新しいまちづくりの会
http://池袋本町.net
豊島区都市整備部地域まちづくり課
問い合わせ先：
tel 03-3981-1464
fax 03-3980-5135
編集協力：防災アンド都市づくり計画室

池本だんだん公園 開園1周年



会員募集中
新しいまちづくりの会と一緒にまちづくりをしませんか。参加をご希望の方は事務局まで

令和2年3月14日に池本だんだん公園は開園しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、予定していた開園式は中止となりましたが、公園は通常通り利用されています。

もし隣家に異変を感じたら

池袋本町地区は都会の中の住宅密集地です。ご近所と仲良くするのが理想ですが、まったく交流がない方もいらっしゃいます。でも、あるとき隣近所に異変を感じたらどうしたら良いか、考えてみたことはありますか？普段から顔見知り、声かけできる関係であることが重要ですが、現実的にはできていないのでしょうか。

例えば、新聞紙や広告で郵便受けがあふれ、夜も電気がつきっぱなし、居るはずなのに返事がなく、異臭もあるなど、異変を感じても家族や親しい方以外は、プライバシーの問題もあるので簡単に室内に入ることにはできません。では、そのような場合はどうしたら良いか？建物アパートなど借家の場合は家主さんや管理会社などが立ち入り可能です。連絡先がわからない場合は、屋外に掲示してある管理会社や、別の部

屋の居住者に確認する方法が良いでしょう。いずれの方法でも連絡先がわからない場合は、24時間対応の「警視庁総合相談センター」(#9110または03-3501-0110)に相談するのが良いでしょう。各種相談窓口や所轄警察署につないでくれるはずですが、なお、事件や事故等の場合は「110番」、ケガや急病の場合は「119番」にご連絡ください。

他には、町会への加入は回覧板等による安否確認が可能となるため重要です。また、豊島区民社会福祉協議会では、コミュニティソーシャルワーカー(CSW:03-6864-2930)を配置して、関係機関と連携を図りながら、困窮・孤立など問題を抱えた世帯への支援を行っています。



「警視庁総合相談センター」#9110の活動(警視庁HPから)

つれづれに一言

池袋本町四丁目 長谷川多恵子

皆さんはご自身の人生の幕引きについて考えた事はありませんか？最近ではマスコミやテレビで終活という文字を見た事があるかもしれません。私も最近起きた近所のある事件を知るまでは正直漠然としか考えていませんでした。

それはあまりに突然な出来事でした。アパートに、たぶんお一人で住んでいらした方が孤独死をされていました。誰にも看取られる事もなく人生の幕を下ろしたのです。特に言葉を交わした事はありませんでしたが、何だか色々な事が頭をよぎりました。近所の方もあまりお付き合いが無かったように、どなたも異変に気が付かなかったようでした。

昨今は個人情報保護の為に、色々と制約があり、「コミュニティ」が作りづらくなっているように感じます。私が小さい時は近所のおばちゃんの家に入り込んだり、お菓子を頂いたり、親が留守の間面倒みてもらったり、時には叱られたり、そこには愛が感じられたように思います。今は残念ながら人との関わり合いが変わってしまったように感じます。マンション等の集合住宅では隣に誰が住んでいるかもわからない、というような事も聞いたりしています。

コロナ禍で外出もままならない今だからこそ、改めて人と人との関わり合い方を見直す良い機会ではないでしょうか。よく聞く事ですが、「人という字は一人一人がお互いに支えあって人という一文字になる」。改めて大切な事だと感じるので。まずは勇気を出してあいさつから始めてみてはいかがでしょうか。きっとそこから何かが変わるかもしれません。

池本だんだん公園 あれこれ



すべり台…地形の高低差(だんだん)を利用した
大きなすべり台



すべり台と大階段



遊具…幼児用の遊具が2種類



ベンチ…木を囲むコンクリートのベンチ



バリアフリー花壇…腰に負担なく花の手入れができる花壇(参加者募集中)



メダカの嫁入り

開園式で子ども達にメダカをプレゼントしようと、育てる会の方がたくさん育てていました。ところが開園式は中止に。たくさんのメダカたちは行き先を失ってしまいました。そこで南長崎はらっぱ公園と小鳥がさえずる公園のビオトープに放流させていただきました。

南長崎はらっぱ公園

区の防災備蓄倉庫など



深井戸
(深さ 100m)

地域を守る 防災設備



マンホールトイレ



資機材ベンチ
提供：東京土建
上池袋本町分会



組み立て式のかまどベンチ

だんだん公園を育てる会

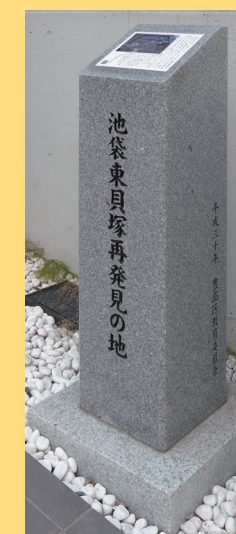
公園を見守り育てるために、育てる会が発足しました。育てる会は、公園検討会が母体となり、地元の町会の皆さんなどが参加しています。

定期的な会合の他、毎月第2・第4日曜日午前10時からボランティア清掃を行います。清掃にはどなたでも参加できます。ご近所の方はお気軽にご参加ください。

お問い合わせ：豊島区公園緑地課 03-3981-4940



池袋東貝塚の記念碑



平成29年に120年ぶりに再発見され話題となった池袋東貝塚の記念碑が建てられました。場所は区民ひろば池袋本町の北側です。散歩のついでに、遠い昔に思いをはせてみませんか。

お問い合わせ：
豊島区教育部庶務課

文化財グループ
03-3981-1190

不燃化特区における助成制度について

池袋本町地区の不燃化を促進するために、区内では老朽建築物の建替えや除却に要する費用の一部を助成しています。この制度は令和2年度までの期間限定で運用していましたが、令和3年度以降も制度を一部変更し継続する予定です。

また、不燃化特区の助成を受けるためには、老朽建築物を取り壊す前に区に申請し、承認を受ける必要があります。建替え、除却をご検討の方はお早めに区までご相談ください。

お問い合わせ：

豊島区地域まちづくり課 03-3981-1464